

障害者に関する意識調査（結果）

山梨県福祉保健部障害福祉課

1 アンケート調査の実施時期

平成20年7月

2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	383人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	120人
合 計		503人

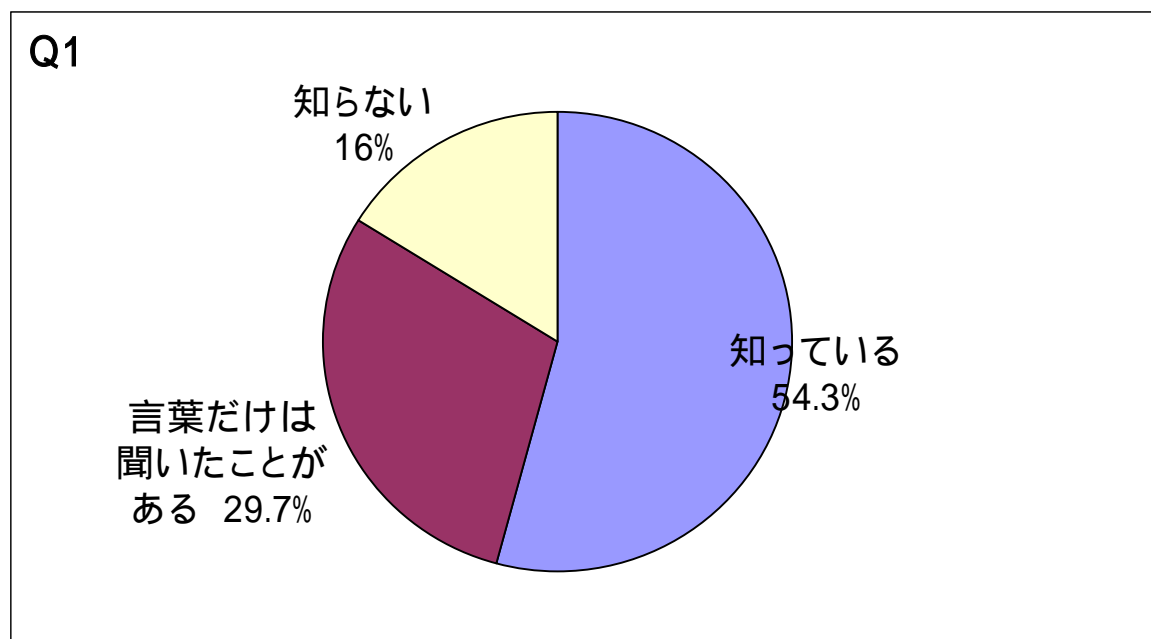
3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	310人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	92人
合 計		402人

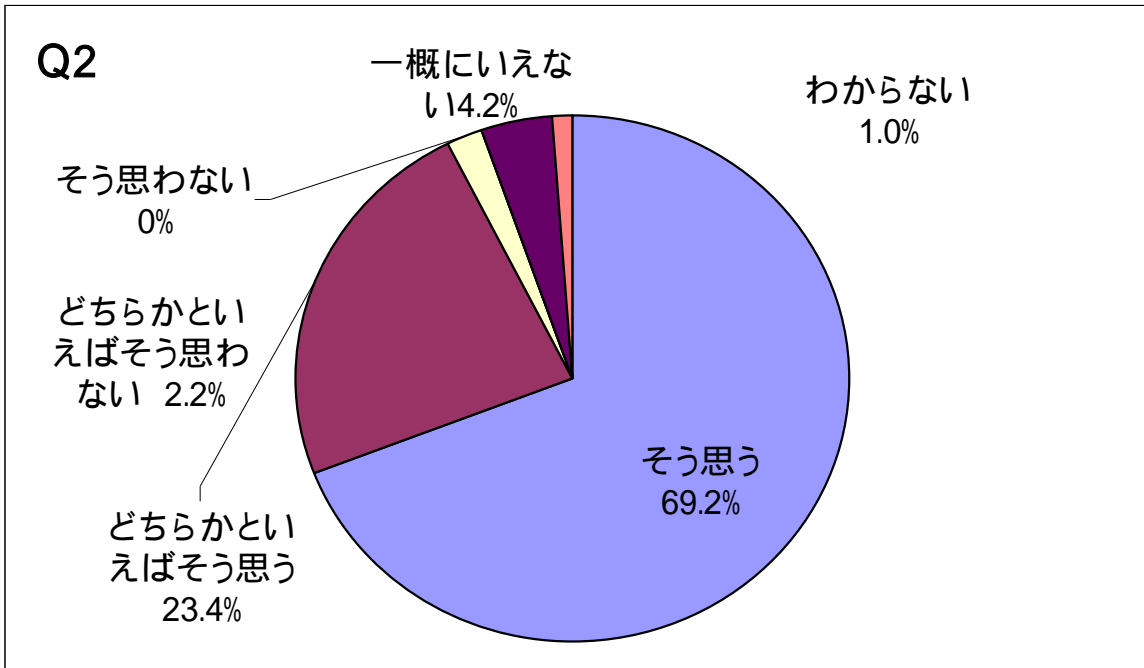
回 答 率 79.9%

4 集計結果

Q1 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。

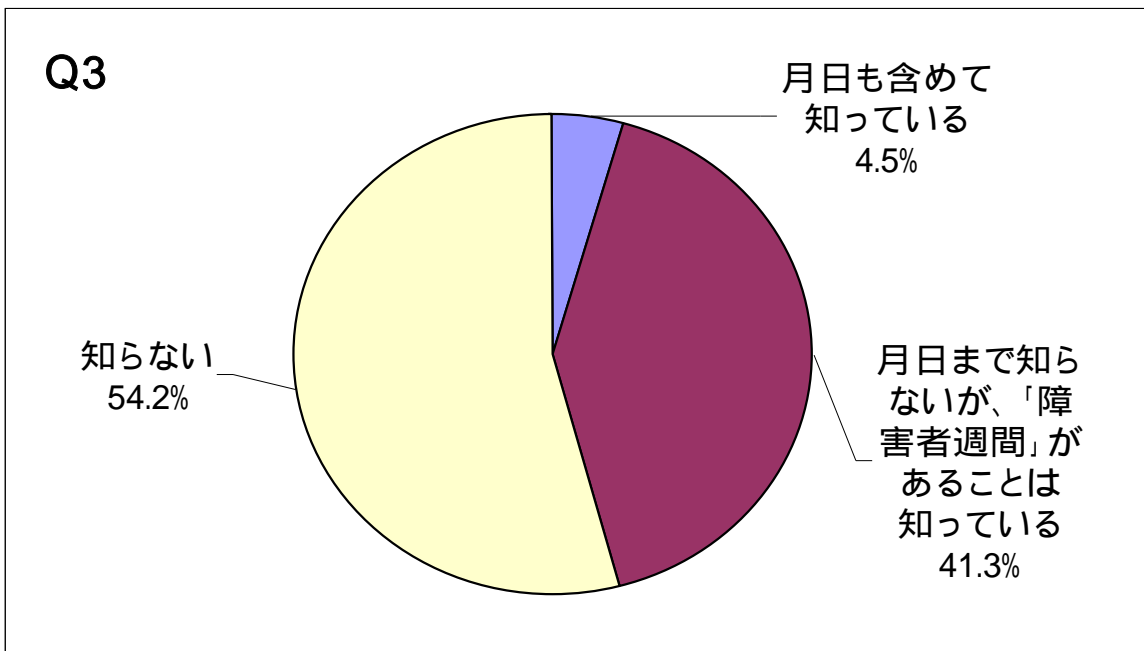


Q2 国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境作りを進めています。あなたは、この「障害のある人が身近で生活しているのが当たり前だ」という考えについて、どう思いますか。この中から1つだけお答え下さい。

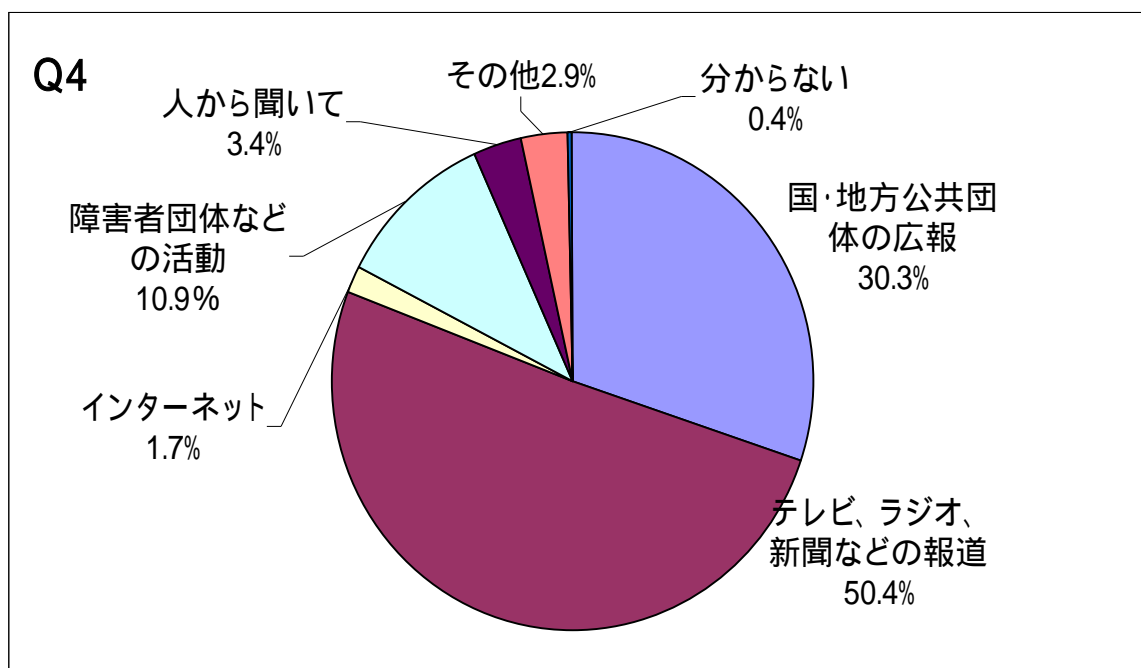


Q3 国は、障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と決めて、さまざまな取り組みを行っています。

あなたは、「障害者週間」を知っていますか。



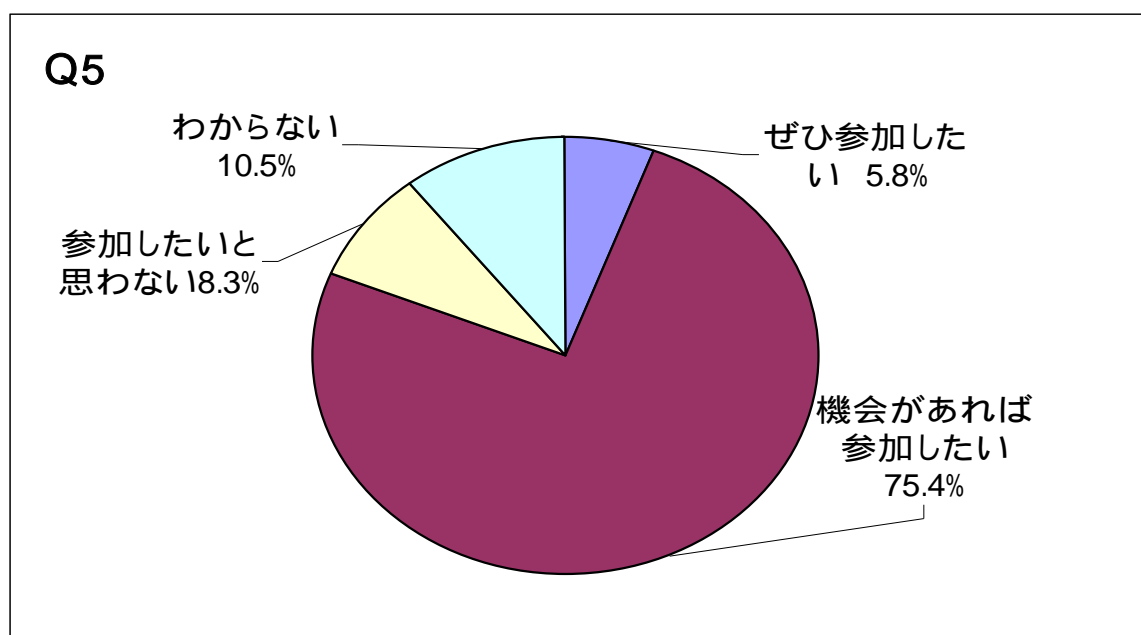
Q4 (ア)(イ)と答えた方に伺います。それは何によって知りましたか。この中からいくつでもあげてください。



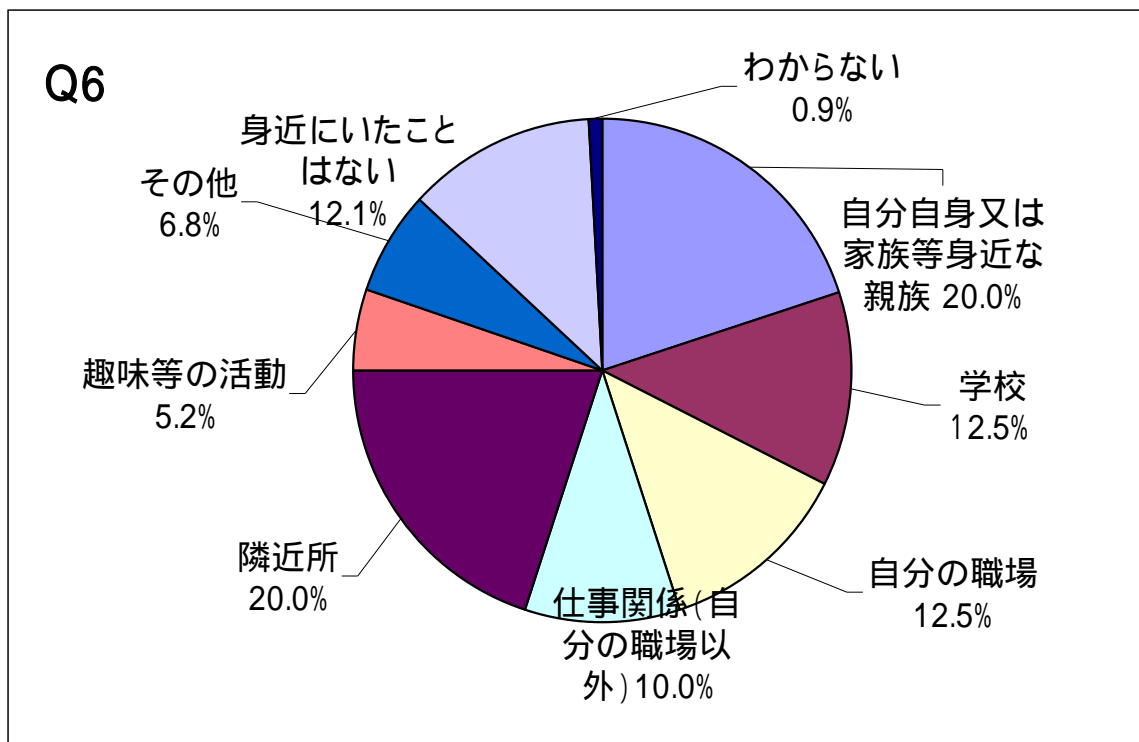
Q5 国や地方公共団体では、「障害者週間」を中心に障害のある人に対する理解を深めるために、次のようなさまざまな行事や催しを行っています。

あなたは、このような行事や催しに今後参加してみたいと思いますか。

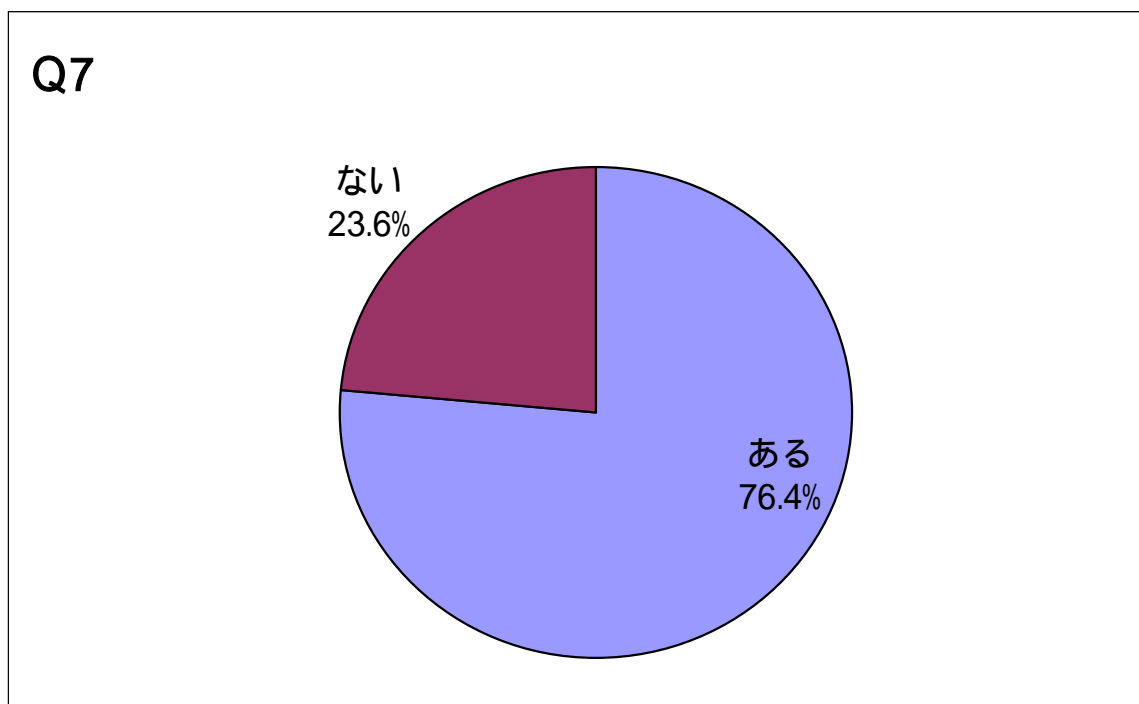
・ 障害のある人のことをテーマとしたセミナーやシンポジウム
・ 障害のある人による演劇・コンサート
・ 障害のある人とともに行うスポーツ
・ 障害のある人が作成した絵画等展示会・作品展
・ 福祉バザー



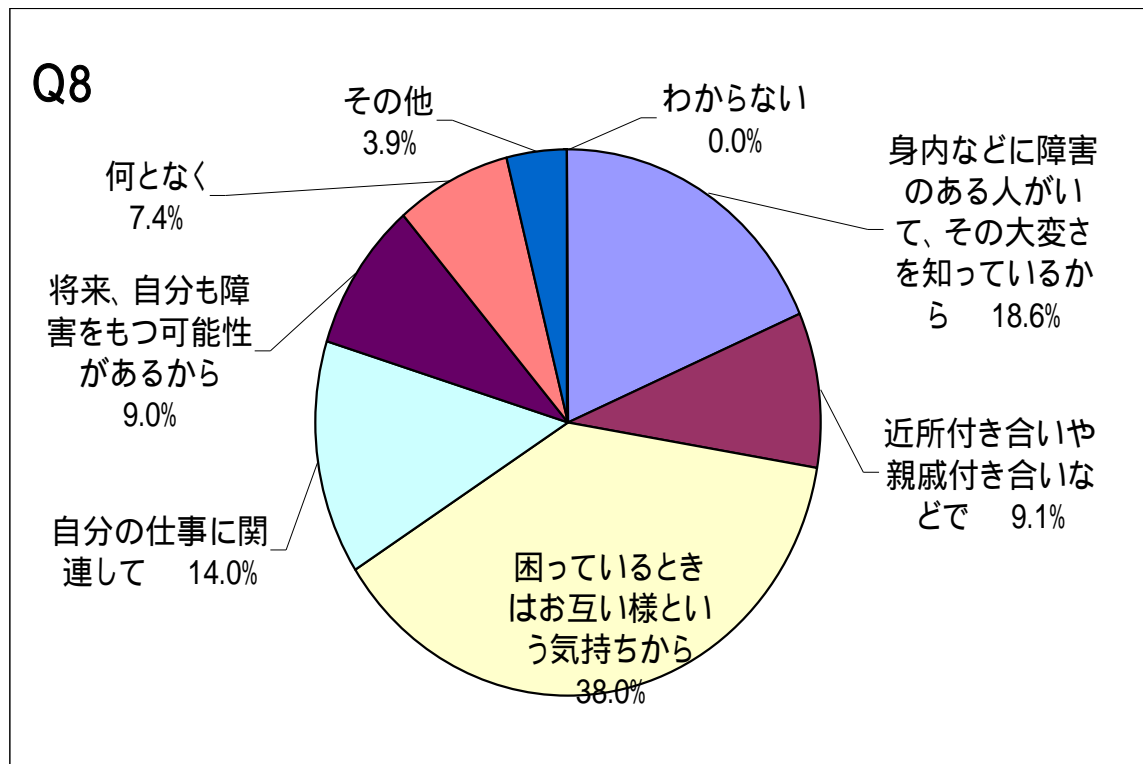
Q6 あなたの身近に障害のある人がいますか、または、これまでいたことがありますか。この中からいくつでもあげてください。



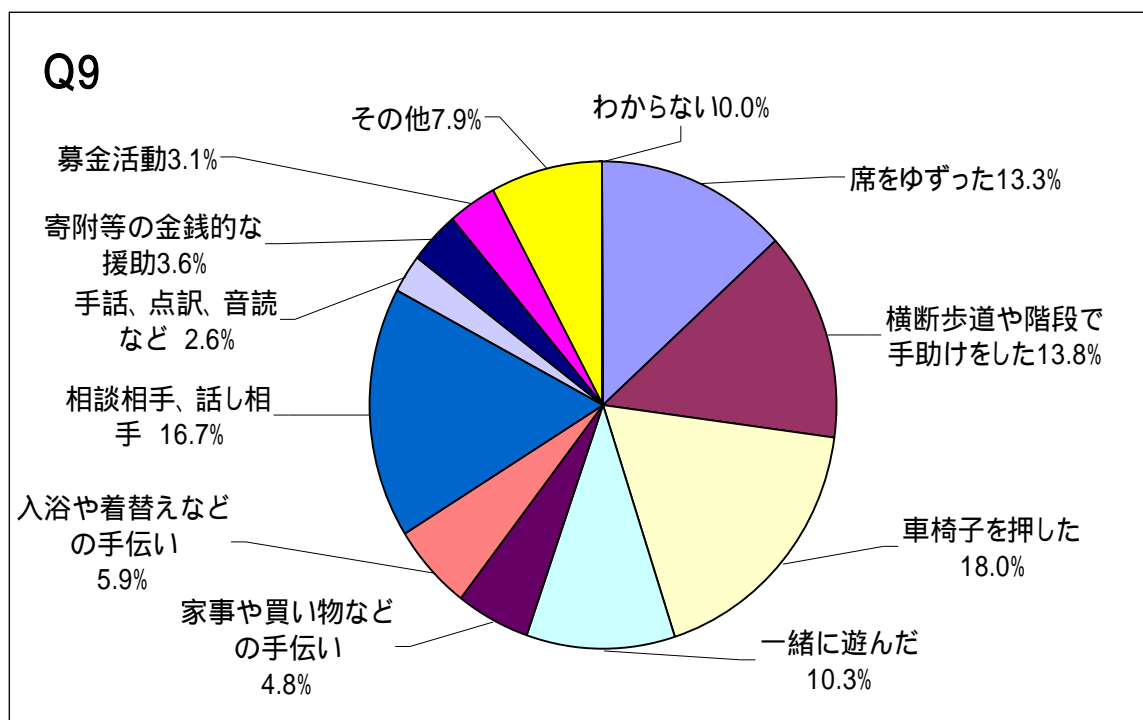
Q7 あなたは、障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたりしたことがありますか。



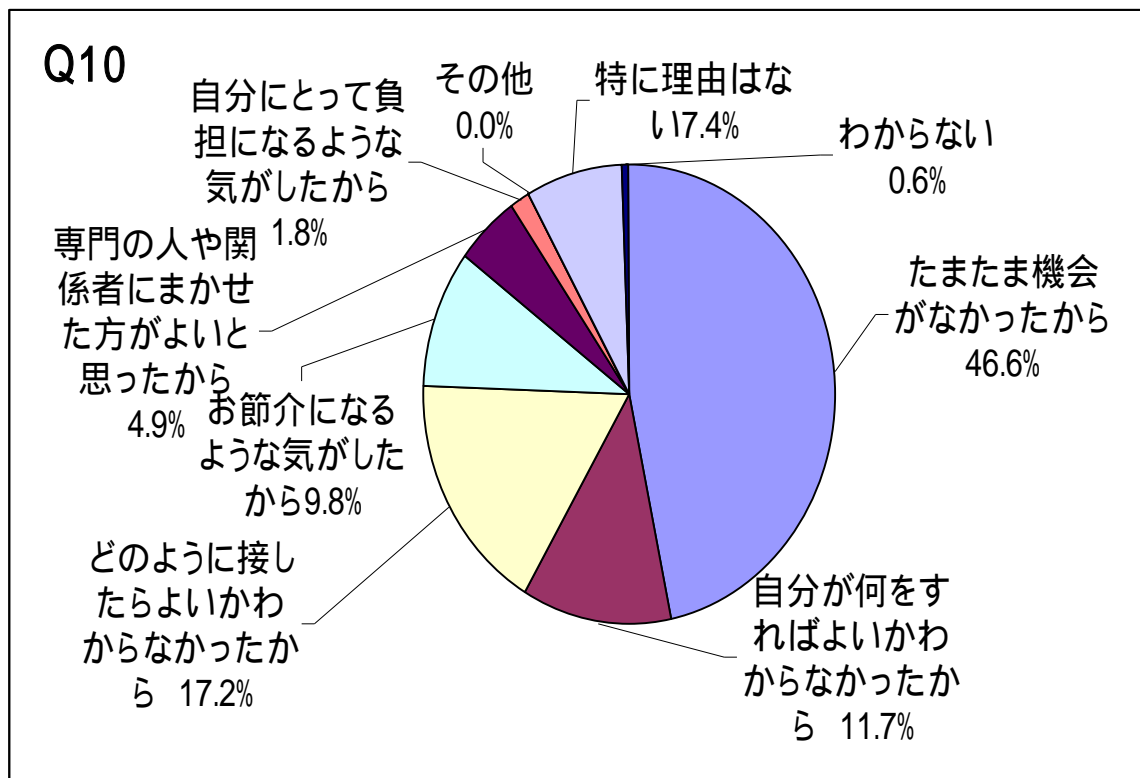
Q8 Q7であると答えた方に伺います。それはどのような気持ちからでしょうか。この中からいくつかもあげてください。(ないと答えた場合はQ10へ)



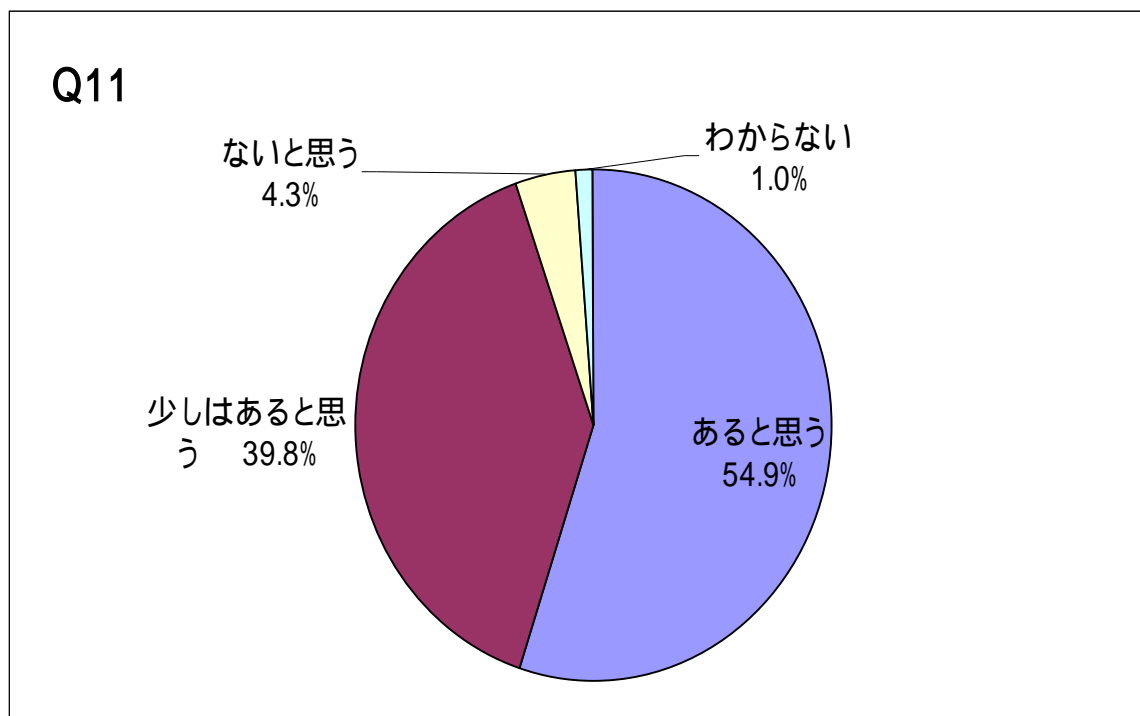
Q9 Q7であると答えた方に伺います。それはどのような話や手助けでしたか。この中からいくつかもあげてください。



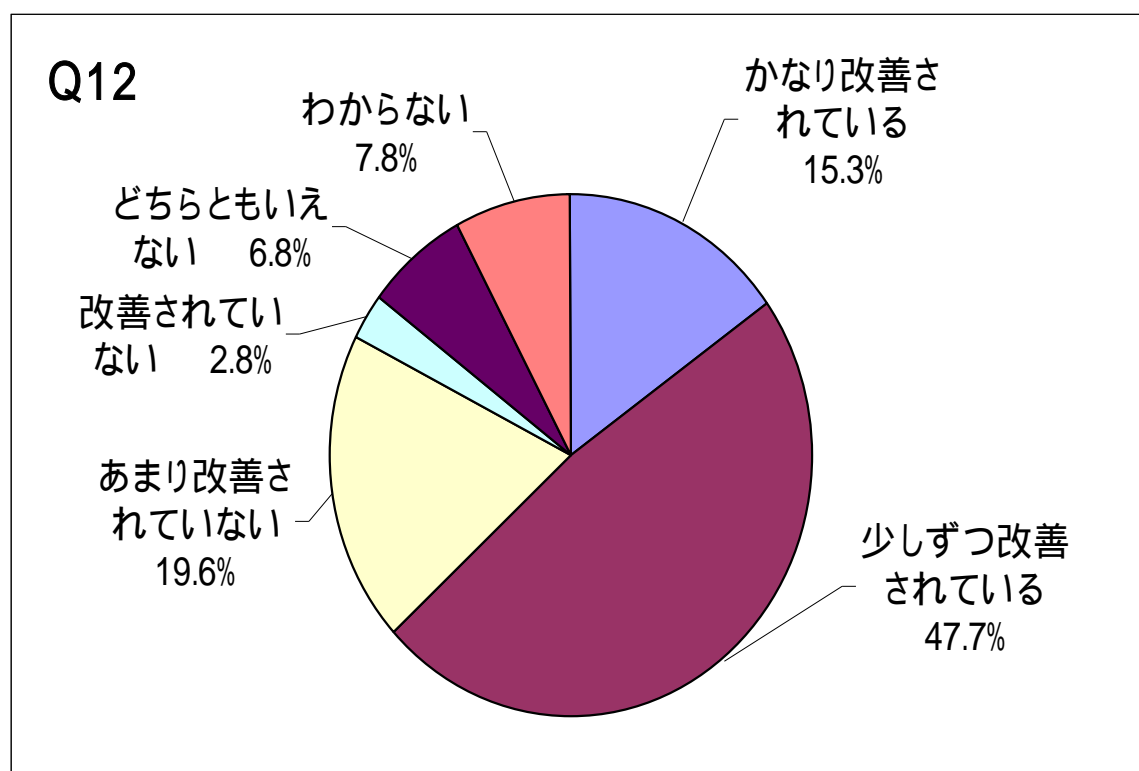
Q10 Q7でないと答えた方に伺います。なかったのはどうしてでしょうか。この中からいくつかもあげてください。



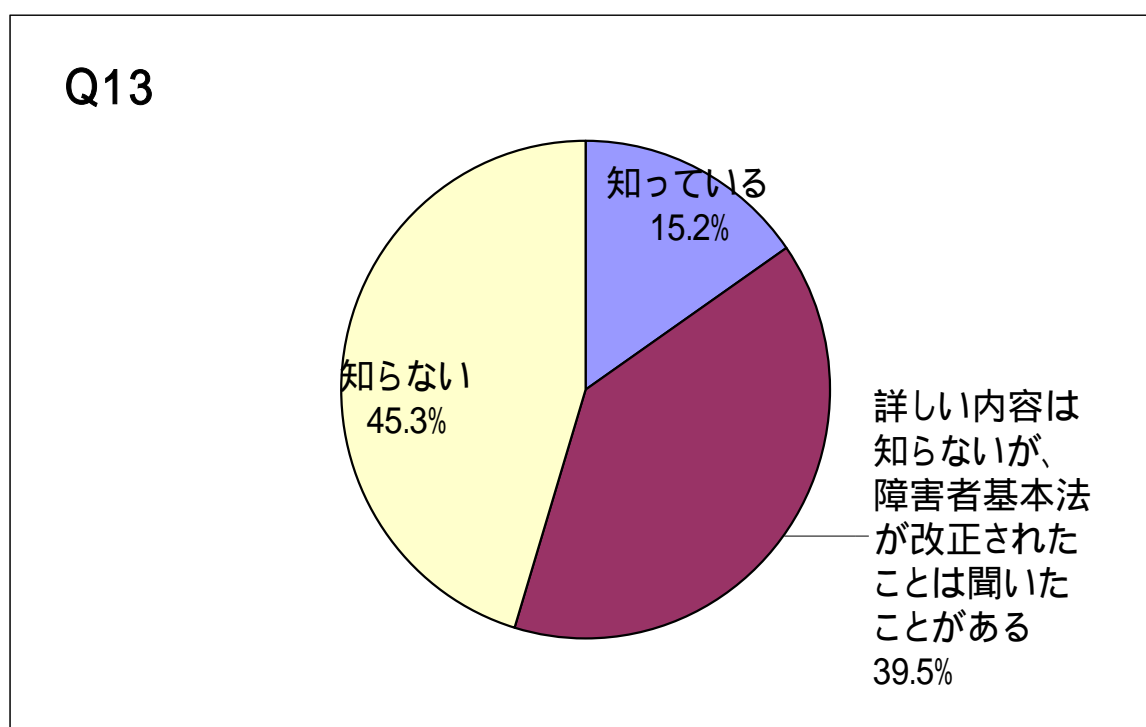
Q11 あなたは、世の中には障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。



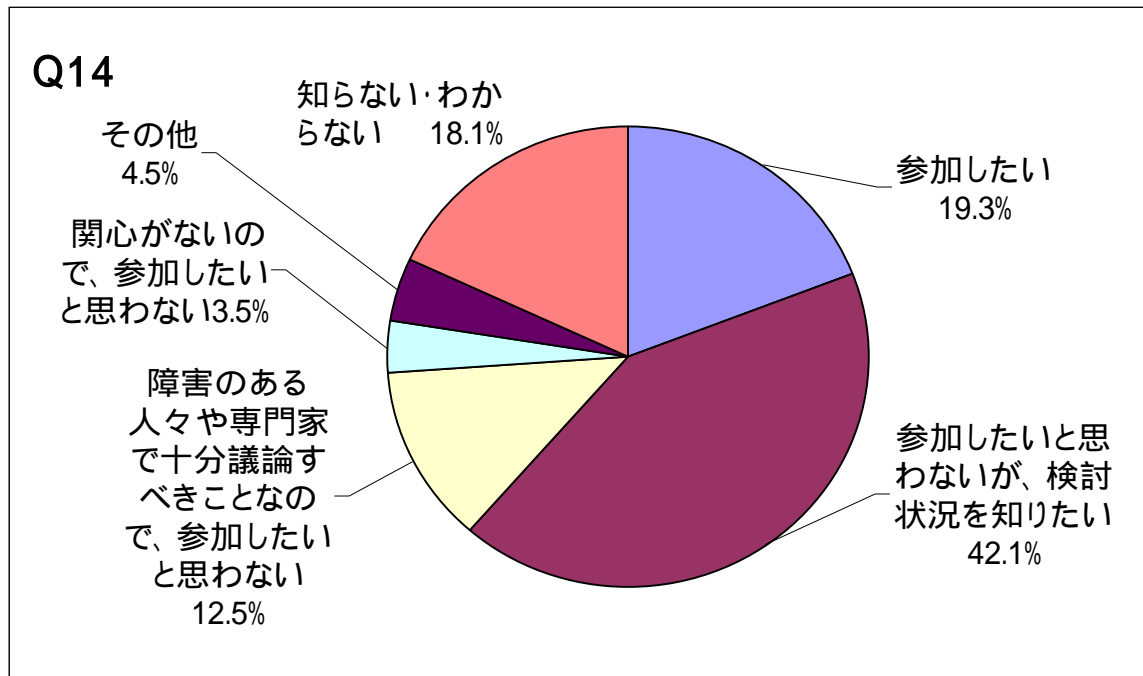
Q 1 2 あなたは、5年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。



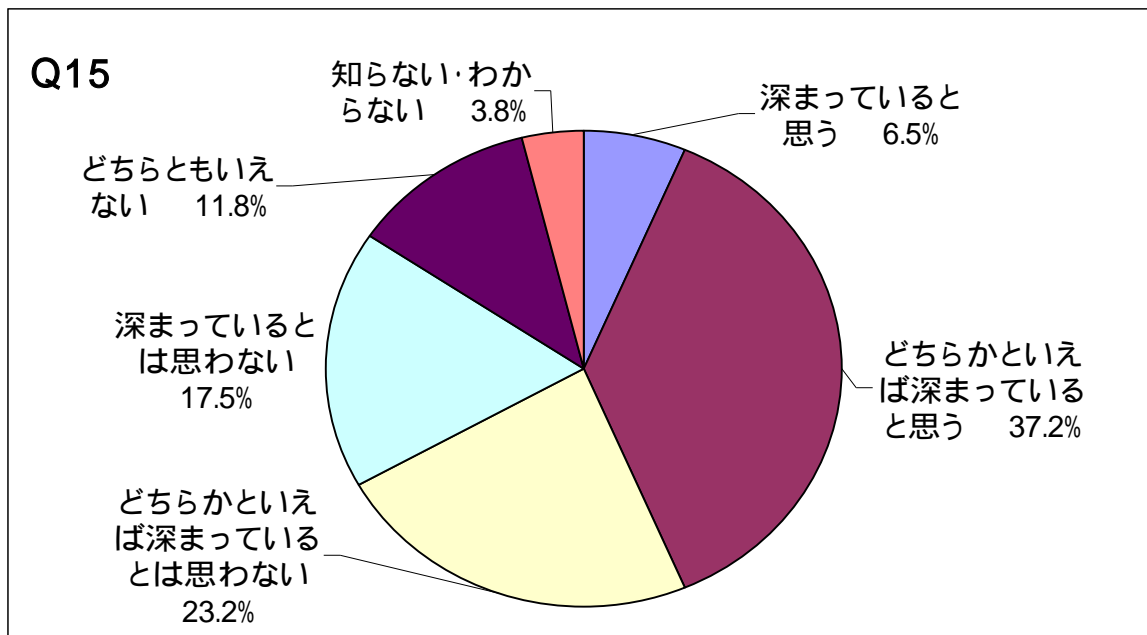
Q 1 3 あなたは、平成16年に障害者基本法が改正され、「障害者に対して、障害を理由として、差別することその他権利利益を侵害する行為をしてはならない」ことが法律の基本的理念として明示されたことを知っていますか。



Q14 「障害者基本法」では、都道府県や市町村が、障害のある人々への支援や社会参加を進めるための基本的な計画(障害者計画)をつくることとなっています。この計画をつくるに当たって、意見や要望を出すことができる場が設けられるとしたら、あなたは参加したいと思いますか。



Q15 平成17年4月に、新たに発達障害者支援法が施行され、学習障害(LD)(1)や注意欠陥/多動性障害(ADHD)(2)、自閉症(3)などの発達障害を持つ本人やその家族に対する支援が求められています。そのためにも、発達障害についてまわりの理解が重要ですが、あなたは、発達障害について社会の理解は深まっていると思いますか。



(1)

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指します。

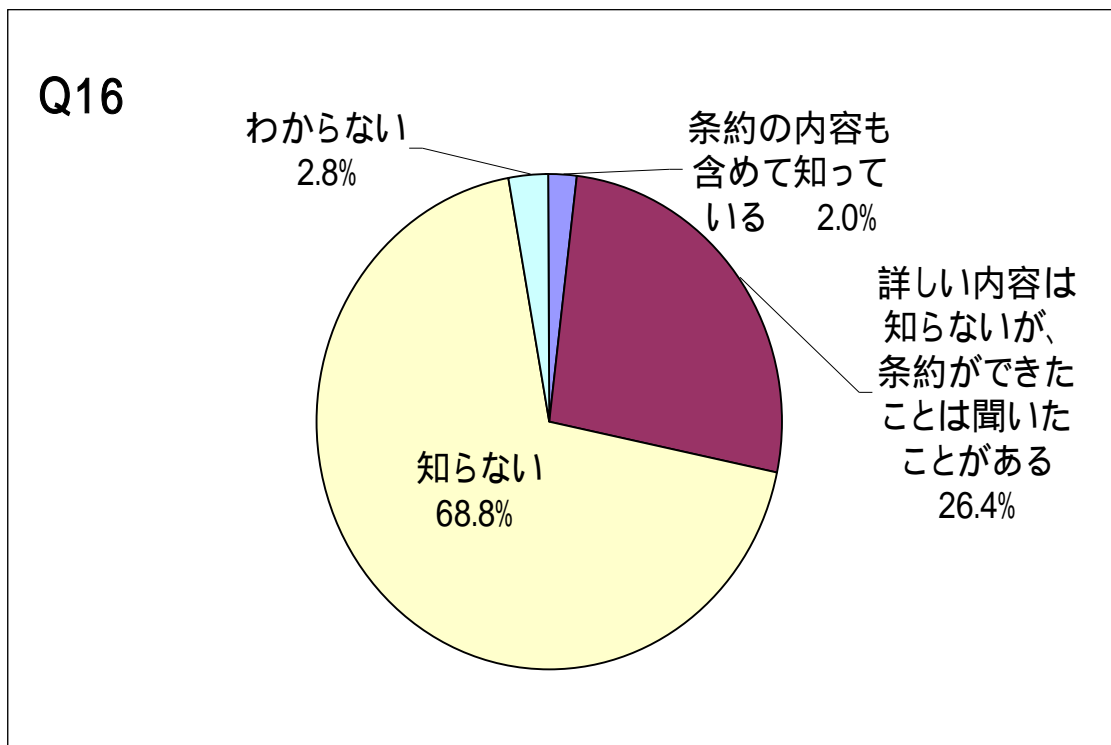
(2)

注意欠陥・多動性障害 (ADHD) とは、注意力が乏しいか持続せず、衝動的で、年齢相応ではない状態をいいます。一部の子供には多動もみられます。

(3)

自閉症は、生まれつきの脳の機能障害と考えられています。全般的な知能の遅れがある精神発達遅滞と異なり、認知、知覚、言語の障害が基本にあると考えられ、人とのコミュニケーション、物の認知などが苦手です。さらに特定な物事へのこだわりや、急に予定が変更になるなどの見通しが立たないことに対し嫌悪感を示すなどの特徴があります。

Q 1 6 国連は、平成 1 8 年 1 2 月、障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定める「障害者権利条約」を採択しましたが、あなたはこのことを知っていますか。

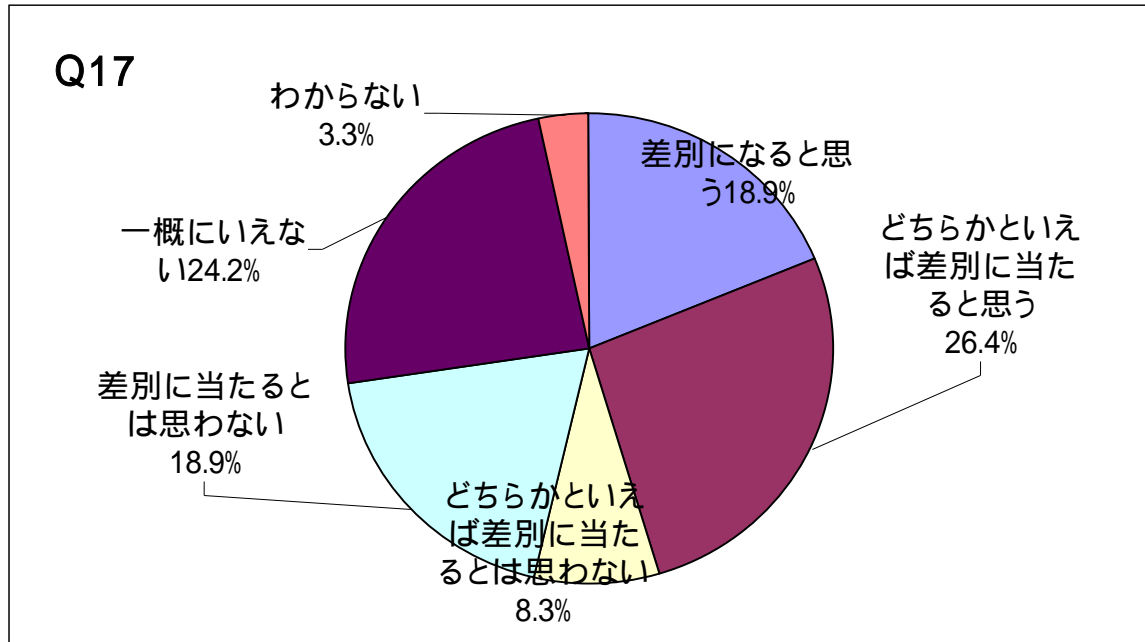


Q17 障害のある人とない人が同じように生活するためには、例えば、

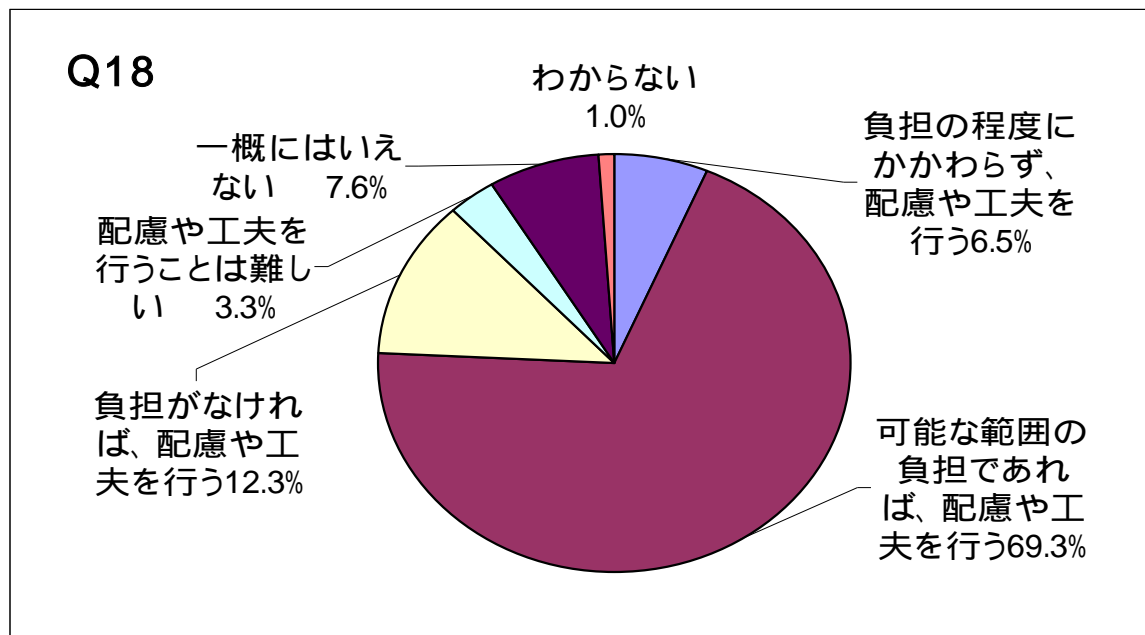
- ・ 車椅子が利用できるように商店やレストランの入り口のスロープやトイレの整備
- ・ 目の不自由な人や耳の不自由な人が地域の集会や会社の会議に参加できるように、点字の資料や、手話の通訳を用意

などいろいろな配慮や工夫が必要になることがあります。

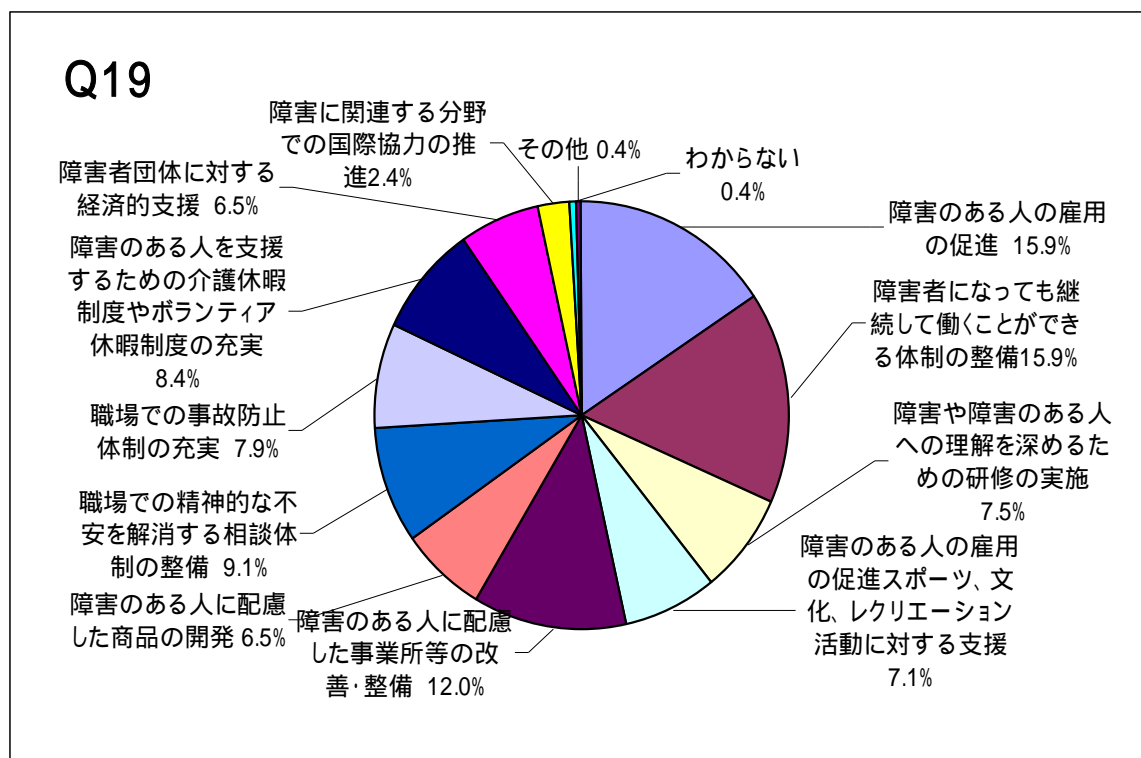
あなたは、こうした配慮や工夫を行わないことが「障害を理由とする差別」だと思いますか。



Q18 障害のある人とない人が同じように生活していくために必要とされるこうした配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともありますが、あなたはどのようにしますか。



Q19 あなたは、障害のある人のために企業などの民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。この中からいくつでもあげてください。

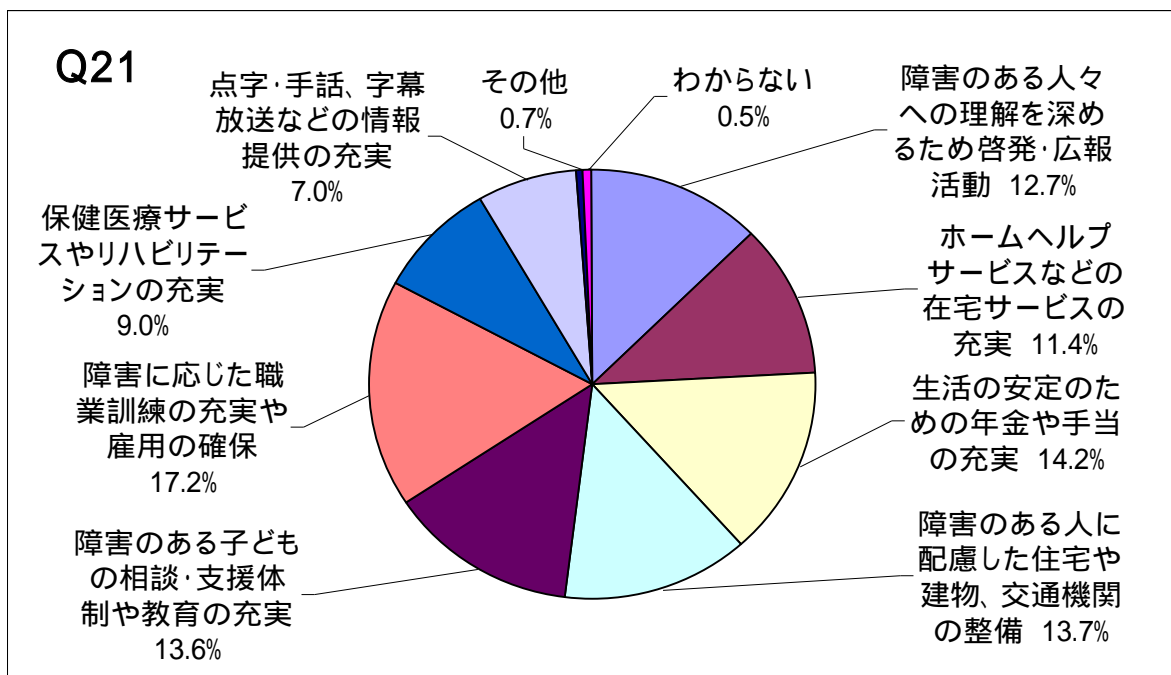


Q20 Q19で「その他」と答えた方は、希望する活動について御記入をお願いします。

【主な回答】

- ・ 個人情報保護の立場にたった対処法も必要か。組織的な取り組みに対する国家・地方自治体の補助対応も必要。
- ・ 障害のある方々が健常者と同等に、不具合なく家から出て街に出られることが、第一に必須。不具合なく活動できる公共空間の形成が、はじめに必要。
- ・ サポートできる人材ネットワークの整備
- ・ 福祉センターは大変充実しているように見える。経済的支援で働けない身障者も生活の保障をして欲しい。
- ・ 家族、親族も最低限度の努力をする。また、障害者や家族は周囲からの協力を快く受け入れる素直な心を養成する必要がある。
- ・ 障害者募集等、健常者と障害者の区別をしない。
- ・ 老人のため(病院へつれていく他)にローテンションをお願いしてもうまいかず、会社を辞めたりする事が多い。また、山梨の事業所で「障害者を雇用なんて」ありえるのか？
- ・ 福祉の先進地域国の視察などを行い、日本にもとり入れていく。

Q 2 1 障害のある人々に関する国や地方団体の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをこの中からいくつかあげてください



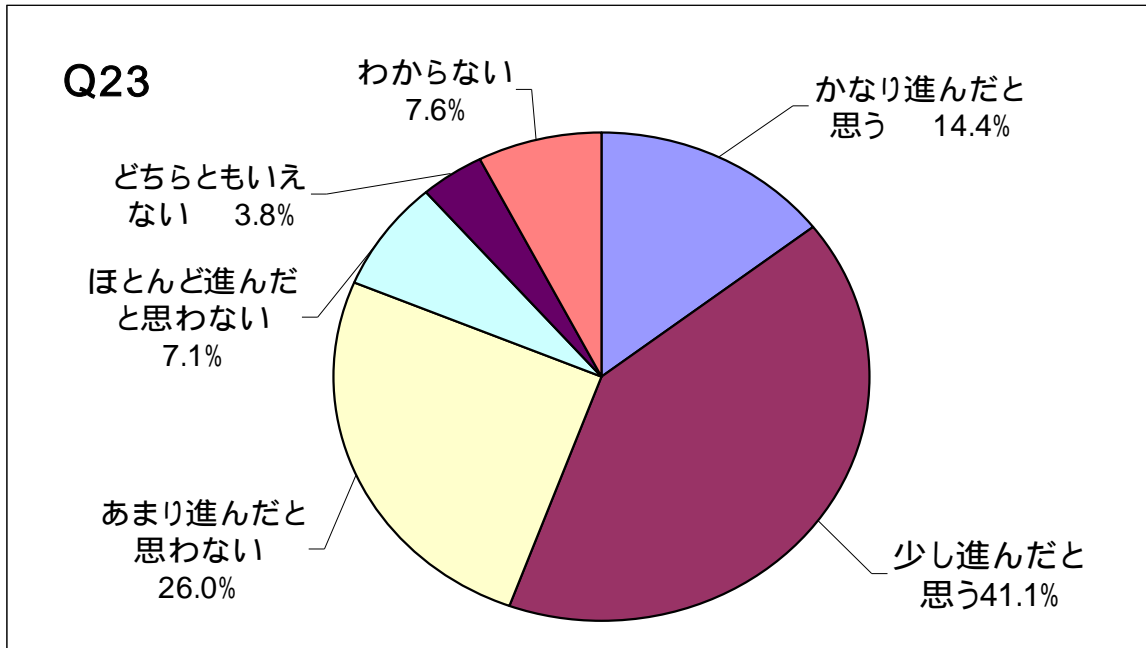
Q 2 2 Q 2 1で「その他」と答えた方は、もっと力を入れる必要があると思うものについて御記入をお願いします。

【主な回答】

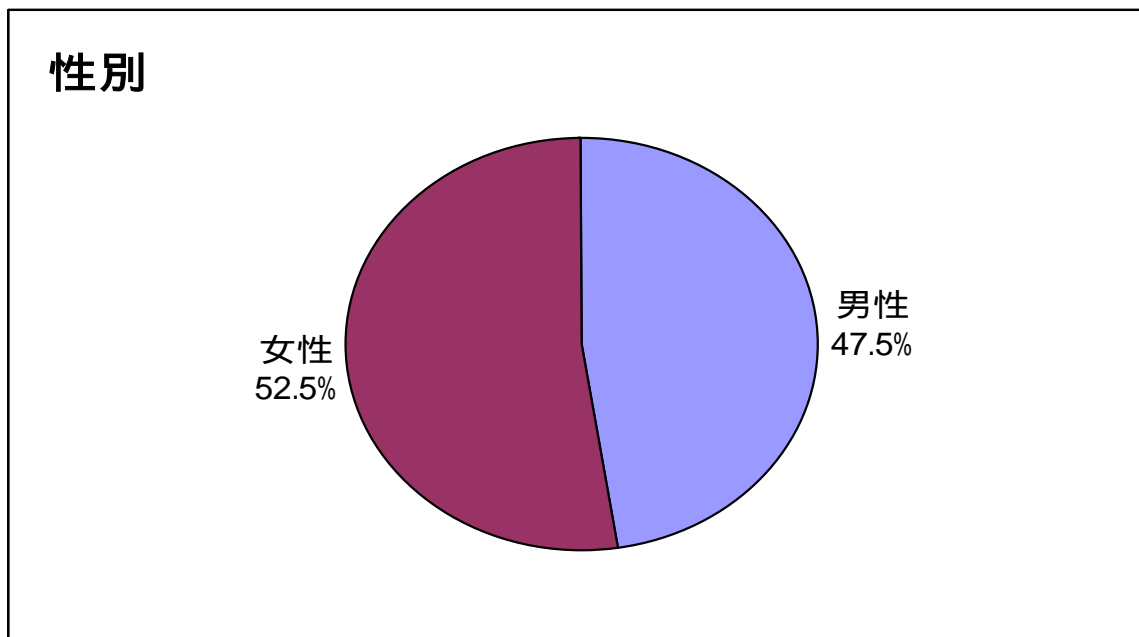
- ・ 障害の表記について、公報やアンケートなどで「害」という文字を使うのを止めてほしい。
- ・ もともと同じ星に生まれた人間なので、話し合うまでもなく、特に「障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備」は、当然の事、お金のある人もお金の無い人も同じ交通機関を利用できるようにあるべきだと思う。
- ・ 障害者を受け入れている施設等への補助金の増額等
- ・ 何でも国や県市町村等の公共に依存することでなく自助努力をする。また、家庭の改装や工事の費用は特段の援助が必要だが、道路等の公共施設の工事等は費用対効果も充分検討して実施する。今道路工事に基づいて歩道が広すぎる場合がある。必要以上にしない。
- ・ 集団生活に入る保育園～中学校において、子供や保護者を対象に障害者への理解を深める。
- ・ まず、身近なところから...自分の住んでいる周りにいる障害者に手助けが出来るのが基本だと思う。障害をもつ人ともたない人双方が理解しあえる社会にしたいと思う。
- ・ 障害者本人もだが、老人など支える人に会社は協力（働けるよう）してほしい。
- ・ いろいろ援助等をして、それが当たり前となり、逆にしないと文句等になる。障害者も甘えるだけでなく、自立できる人は、自立に向けた努力も必要。

- ・ 脳に障害のある人との付き合い方が分からず、“怖い”と感じてしまうので、地域の人々とより交流する場が欲しい。
- ・ 障害者の高齢化への対応、例えば、要介護高齢障害者用特養施設の設置（一般の要介護高齢者とは異なる介護）が必要。
- ・ 交通機関にたどり着くまでの道路の整備が必要。

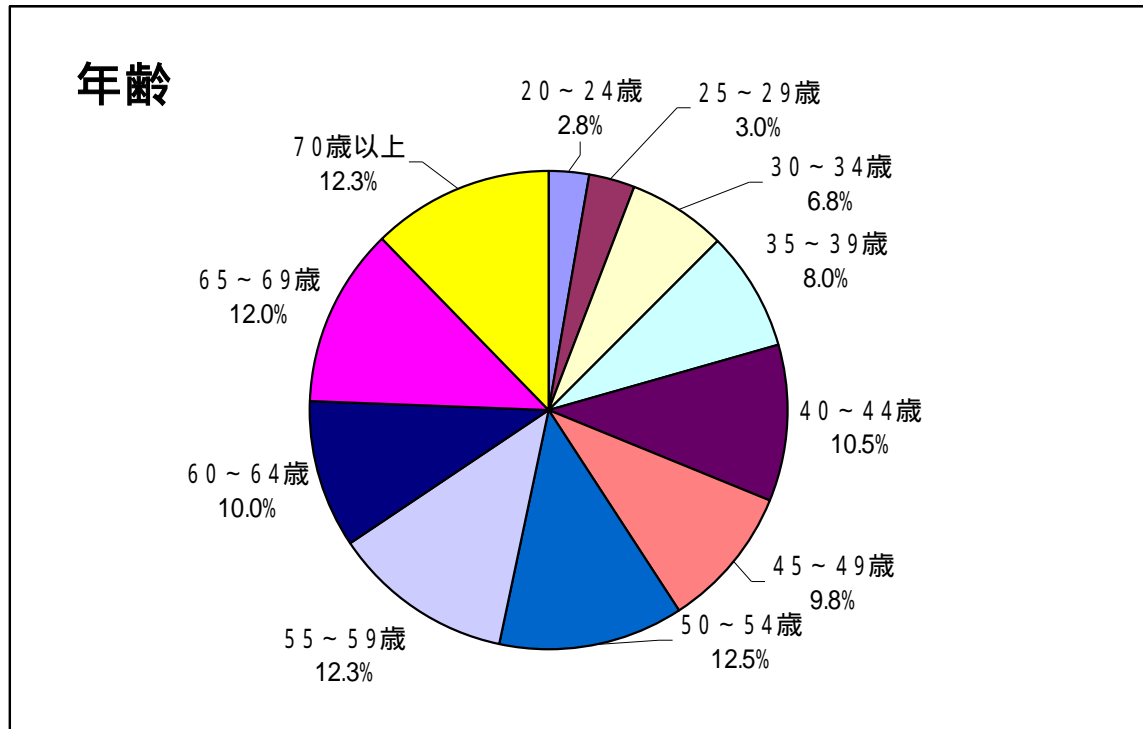
Q 2 3 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障害者施策は進んだと思いますか。



〔性別〕あなたの性別は



〔年齢〕 あなたの年齢は



〔職業〕 あなたのご職業は

